

運転するときの注意

慣らし運転

適切な慣らし運転を行うと、お車の性能をより良い状態に保つことができます。

■慣らしのポイント（走行距離 500 km まで）

- 急発進、急加速をさける
- 急ブレーキをさける
- 控えめな運転をする

ブレーキ

次の項目に注意してください。

- 制動力を効果的に得るために前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使う
- 不必要な急ブレーキをしない
 - ▲ タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。
 - ▲ コーナリングの際は、コーナーの手前で減速してください。
- 雨天走行など滑りやすい路面に注意する
 - ▲ タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。

- 連続したブレーキ操作をしない

▲ 長い坂や急な坂で繰り返してブレーキをかける
と、ブレーキの温度が上昇して効きが悪くなる
おそれがあります。エンジンブレーキと断続
的なブレーキ操作を併用してください。

■コンビブレーキ

左ブレーキレバーを操作すると、後輪ブレーキが作
動すると共に前輪ブレーキが作動し、右ブレーキレ
バーを操作すると前輪ブレーキが作動します。右
ブレーキレバーのみ操作した場合と左ブレーキレ
バーのみ操作した場合では、制動力が異なるため効
き具合に違いがあります。

制動力を効果的に得るためには、右ブレーキレバー
と左ブレーキレバーを同時に使う必要があります。

■雨天または水たまりを走行したとき

路面が滑りやすくなったり、ブレーキの効き具合が
変化します。慎重なブレーキ操作を心がけてくだ
さい。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキを軽
く作動させながらしばらく低速で走行して、ブレ
ーキを乾かしてください。